



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

7月園だより

令和4年6月27日

June 27, 2022

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



繋げることから繋がることへ

園長 河合 晴美

梅雨の晴れ間に、子どもたちが園庭で元気いっぱい遊んでいます。先日は、幼稚園公開や懇談会にお越しいただきましてありがとうございました。6月になり、それぞれの学年がつくりあげてきた雰囲気の中で生活している子どもたちの表情や学級の様子を受け止めていただいたことと思います。家庭では、あまり幼稚園のことを話さないお子さんや家庭とは違う様子を表すお子さんもいます。それでも幼稚園の中では子どもたちが自然体となり、子ども同士でつくる遊びや生活の場面がより豊かになることを望み、日々を送っています。

今年度、南山幼稚園では、「自ら考え かかわりを深め 豊かな学びを創り出す子どもの育成」を園内研究の主題とし、「3年間を見通した育ちを支える指導の工夫」という視点で研究を進めています。3年間の教育活動を考えた場合、それぞれの学年で行なっていることが積み重ねとなり、より豊かな経験となるように考えています。子ども同士で伝わること、伝えていくことは何か、そして、その大切さ、意味することを教育内容で明らかにし、南山幼稚園の文化となることに注目しています。伝わることをつなげていくには、それらを見通して教師が環境を用意し、援助をしていくということです。

砂場で遊んでいた4歳児がバケツに水を汲み、砂場の真ん中でバッシューンと水を空けていた姿から、5歳児が水路を掘り水を流す様子が目に留まると、次の日には見様見真似で同じようなことを始めました。また、フープを上手に回す4歳児の姿を見ていた3歳児が、同じように腰までフープを上げ、回そうと試しています。子どもたちにとって、新しい刺激や情報、見本となる動きは、興味を抱き取り入れたいこととなります。その思いが力となり、新しいことを獲得していく学びとなるのです。

先日、保護者の方に記入していただいた「お弁当のこと」「生活の中でのこと」に対するメッセージを拝見いたしました。「大丈夫」「次はこうなります」というヒントが書かれたメッセージには、子育てをする仲間(先輩)からのエールとして、温かい気持ちが伝わりました。ありがとうございました。

今年度は、子どもたちも保護者の方も、互いの思いをつなげることで、つながることのよさを感じるとともに、さらによりよい明日につながるきっかけを得ていただきたいと思っています。



<3歳児 水遊び>



<4歳児 砂場での遊び>



<5歳児 南山小5年生との交流>